

## これからがシーズン。湿気、水、汗から補聴器を守ろう！

補聴器の故障で多いのが、「湿気」が原因のさびや腐食、接触不良です。また、「湿気」は、補聴器のマイクやスピーカー部の感度を低下させ、子どもも気がつかないでいることが多いんです。

毎日の補聴器チェックは欠かせませんね。

「湿気」などによる故障を未然に防ぐには、まずは、**毎日、乾燥剤入りの「乾燥ケース」に入れて保管**することが大切です。

とは言っても、この乾燥剤の交換時期が意外と難しいのです。一般的には「2～3か月を目安に、乾燥剤の色が青から赤に変わったら」と説明されていることが多いようです。しかし、**ふたを閉めなければ一晩で乾燥剤がしけり、乾燥ケースとして機能しなくなります**。気を付けてください。

乾燥ケースの乾燥剤は、まめに交換や再生をしてくださいね。

乾燥剤(シリカゲル)を電子レンジ等で加熱し、再利用を試みられる方もいらっしゃると思いますが、再生を繰り返し続けると乾燥効果が低下してきます。**適当な時期に新しいものにも交換してみてください**。

(シリカゲルには、加熱途中で有毒ガスが出るものもありますので御注意ください。)

多少の水分で調子の悪い補聴器なら、聴能室にある水分を取り除く機械に数分かければ元に戻ることがあります。



【クリーンミニ】  
学校で購入しました。  
活用してください。

しかし、汗は、耳のそばの補聴器をぬらすだけでなく、スイッチのすき間から入り込んで、塩分で部品をさびさせてしまいます。そのため、汗から補聴器を守るために、補聴器に布などのカバーをかけることが大事です。

カバーをかけるときは、なるべくマイクの部分が隠れないようにします。マイクは、補聴器上部にあって、ぬれやすいのですが、汗や水でぬれたカバーで

マイクがふさがれると感度が落ちてしまいます。

乾いているカバーだと、音質的には変わりありませんが、ぬれたときはこまめに代えることが大事です。

指向性をつけるため、2か所にマイクがある補聴器もあります。マイクの位置を確認してみてください。

手作りを含め、いろんなタイプのカバーがあります。

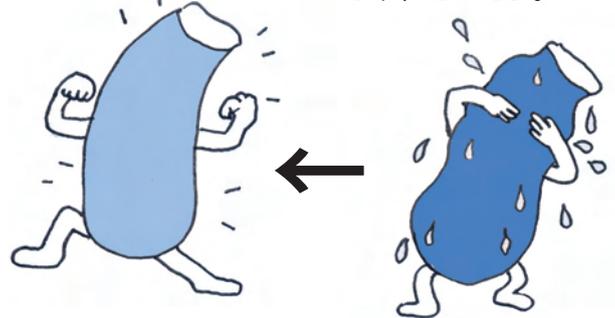


ときどき、汗だくになって走り回り、髪の毛もカバーもびしょびしょの生徒を見かけることがあります。スポーツをするときは、「**こまめにタオルで汗をふく**」、「**補聴器をふく**」、「**汗カバーを交換する**」などに気を付け、汗から補聴器を守る工夫が必要です。



新しいカバーに交換！

びしょびしょのままじゃ、だめだよ。



補聴器の汗カバーは、清潔に保つよう、家庭で洗濯もお願いします。洗い替えも、準備しておきましょう。

すでに暑い夏がやってきています。汗と湿気対策を万全にして、暑い夏を乗り切りましょう！

## 補聴器管理：プール・水遊びで気を付けること

水泳のとき、補聴器・人工内耳の管理が大切になります。

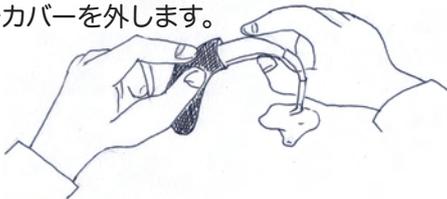
補聴器をつけていることを忘れて、うっかりそのままシャワーを浴びたため、水に濡らしてしまうこともあるかもしれません。

年齢によって違うと思いますが、**水泳前に教室で外して行く**など、プール学習の際の管理の仕方、ルールを決めておく必要があります。普段から、精密機械なので、湿気の多いところに持ち込まないように気を配ることが大切です。

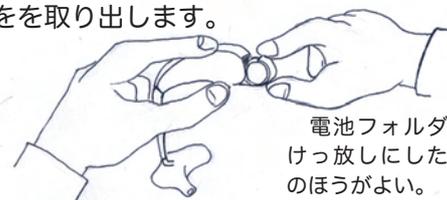
水泳時は、昼間でありながら、補聴器や人工内耳を装着しない時間です。ぜひ、その間は乾燥ケースに入れるようにしましょう。

汗カバーを外して干し、電池を取り出し、電池フォルダを開けっ放しの状態で乾燥ケースに保管しましょう。

汗カバーを外します。

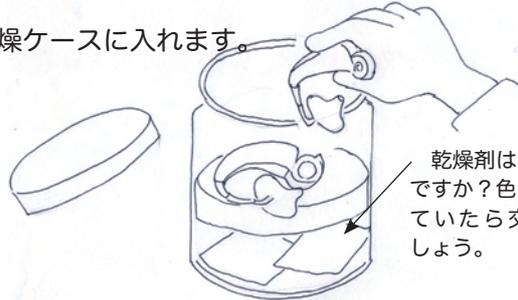


電池を取り出します。



電池フォルダは開けっ放しにした状態のほうがよい。

乾燥ケースに入れます。

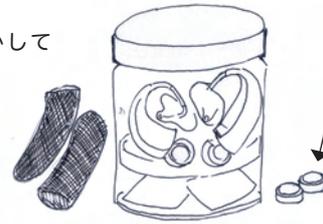


乾燥剤は、新しいですか？色が変わっていたら交換しましょう。

乾燥ケースのふたはしっかり閉めましょう。

電池は、乾燥ケースの外に出しておく。

カバーも、乾かしてあげよう。



もし、補聴器や人工内耳が水で濡れてしまった場合は、タオルやティッシュで水分をふき取りましょう。電池も取り出し、電池も、電池フォルダもしっかりふきましょ。

**水泳後は、しっかり髪の毛を乾かすようにしましょう。**耳かけ式補聴器では、マイクが神と耳の間にくるため、汗が髪をつたってマイクやスイッチなどの隙間から中に入り込みやすくなっています。

耳の中がぬれたまま補聴器をすると、外耳道の炎症を起こしたりもします。しっかり耳の中も乾かしましょ。

**タオルで髪の毛をしっかりふく、ドライヤーを使う、耳の中の水分も綿棒で取るなどしましょ。**



イヤモールドの「**耳あか詰まり**」も、補聴器のトラブルでは意外と多いものです。

固い耳あかの方でも、プールに入った後は、耳あかが膨張したりして、補聴器の耳あか詰まりを起こさせる場合があります。

耳と補聴器の両方のお手入れが鍵です。

### 紹介：イヤギヤ製 汗カバー

オーチコン社より販売

水着と同じスパandex（ポリウレタン）素材で出来ていて、水をはじく性質があります。従来のカバーは下（電池ボックス）からかぶせるように装着しましたが、イヤギヤ社製は上（フック）から装着します。

販売価格：2500円（2個入り）

色：ベージュ、グレー



## 交番で活用「コミュニケーション支援ボード」

おもて

絵を指さして、意思疎通をはかる「コミュニケーション支援ボード」が、交番や駐在所でも活用されているのをご存じですか？

このボードは、迷子や事件・事故、犯罪被害などに関する表情や動作を描いた絵を指さしながら、意思を訴えるものです。

イラストを手がかりにした支援ボードは、ことばで訴えにくい外国人や障害者などのために作成されたもので、病院や駅など向けに考案されたものもあります。下記のような本も、病院で文字や絵を指さして利用できるよう考えられています。

警察専用のボードは、昨年6月に作られ、全国の交番や駐在所で活用されています。A3の大きさをラミネートしてあります。

もちろん、松山聾学校もお世話になっている和気駐在所にもありましたよ。



『病院で役立つ 指さしてわかる  
聴覚障害者のための受診便利帳』

高橋英孝・著  
法研・発行  
1,800円+税



うら



## NPO モコクラブによる、手話学習会、開催中。

□と き 毎週月曜日 19:00~20:00

□ところ 愛媛県視聴覚福祉センター4階和室  
(松山市本町6丁目)

□月会費 300円

□お問い合わせ先 naohokeypokey@yahoo.co.jp

FAX: 089-932-4631 (代表 原田美藤)

今春から、県外から来られた新講師を迎えて新たに始動。

受講生のみなさんに合わせて楽しく手話学習を行われているそうです。



## 書籍紹介

### ■ 『音のない記憶 ろうあ写真家井上孝治』

黒岩比佐子／著 角川学芸出版／発行 定価 860円(税込)

文藝春秋から1999年に出された単行本『～ろうあ天才写真家井上孝治の生涯』が、角川ソフィア文庫として、お求めやすくなりました。

3歳のとき自宅の階段から落ちて、耳が聞こえなくなったが、プロを超えたアマチュア写真家となった井上孝治の生涯を追った評伝。父から聾学校の卒業祝いにカメラを贈られると、独学で才能をのびし、人、街、生活のスナップショットを撮り続け、晩年には、アルル国際フォトフェスティバルに招待されるなど、世界的な評価を受けた。ろうあ運動にも心血を注ぎ、全国のろうあ写真家をつつとまとめ「全日本ろうあ写真連盟」を創立した。写真も多数掲載

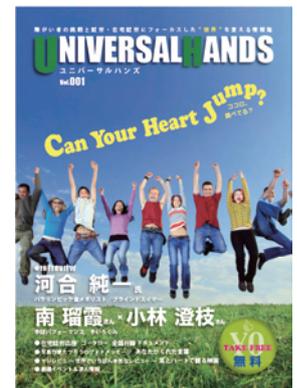


### ■ 無料情報誌『ユニバーサルハンズ』創刊

ジェイブレインより、3か月に一回発行

障害者は何もできない？。そんなイメージをぬぐい去ってもらおうと、人材紹介会社「ジェイブレイン」より、ビジネスやスポーツの世界で活躍する障害者を紹介する無料情報誌が創刊されました。発行元のジェイブレインは、企業に障害者雇用のための助言をしたり、通勤が難しい障害者に在宅の仕事を紹介するなど、障害者の就労に力を入れているところだそうです。

創刊号はA4判12ページ。パラリンピックで通算二十一個のメダルを獲得した全盲の競泳選手、河合純一さんのインタビューや、テレビドラマで手話指導をする南瑠霞さんと耳の不自由なタレント小林澄枝さんの対談や、障害者が出演する映画批評のほか、障害者の求人広告も掲載されています。情報誌の内容はインターネットでも紹介され、見ることができます。



<http://www.uni-hands.net/maga/>

## 研究会の御案内

### 四国教育オージオロジー研究協議会 第6回研修会

日時 平成21年8月10日(月) 10:00～16:50  
8月11日(火) 9:30～16:30

会場 8月10日(月)徳島県立聾学校  
8月11日(火)徳島県立障害者交流プラザ

対象者 聴覚障害児教育関係者

参加費用 会員500円、非会員2,500円

内容 8月10日(月) ○総会

○選択講座(聞こえ・聴覚学習・発音・手話・重複障害児教育・教科指導・脳の仕組み・言語指導・人工内耳・自立活動・暮らしとコミュニケーション・難聴学級など12講座からの選択)

8月11日(火)

○基礎講座「聴覚障害児教育概論」  
愛大教育学部准教授 立入 哉先生

○講演「難聴と認知について考える

～発達障害をあわせもつ難聴児と難聴はなくても  
きこえに苦戦する発達障害児～  
岐阜聾学校教諭 小川 征利先生